

もっと仕上がりを良くするポイント

洗濯、乾燥の前に 衣類の絵表示を 確認してください。





シワが気になる衣類は・・・

洗濯のときは ビート洗浄はもみ洗い洗浄のため、衣類の種類によっては シワがつきやすいものがあります。

●「ソフト」「ため洗い」コースを使いましょう。→P.33

乾燥のときは

衣類には乾燥でシワがつきやすいものがあります。

■シワがつきやすい衣類











綿シャツ

ジーンズ・綿パン

Tシャツ

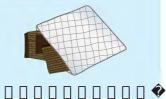
ハンカチ

- 「シワガードコース(2kg)」を使いましょう。
 少し湿り気を残してシワを抑えて乾燥します。
 運転終了後、すぐにつり干ししてください。

 →P.33
- 衣類の量を少なく(2kg)にしましょう。
- 30分乾燥後、すぐにつり干しをしましょう。 生乾きで取り出して、つり干しするとキレイに仕上がります。
- 乾燥前に洗濯物のシワを伸ばしてください。



糸くずが気になる衣類は・・・



タオルなどのゴワゴワ感が 気になるときには

タオルなどはパイルが寝て、ゴワゴワすることがあります。

●「ためすすぎ」や「ため洗い」コースを使いましょう。

たっぷりの水で運転するので、仕上がりがよくなります。 → P.33

●ソフト仕上剤のご使用もおすすめです。

色落ちしやすい衣類は・・・

少ない水で洗うので、かくはん翼でこすられると、色落ちする恐れがあります。







- 色落ちする衣類は分けて洗ってください。
- ●「ため洗い」コースを使いましょう。 → P.33 たっぷりの水で洗うので、こすれにくくなります。

お知らせ

● お湯取について →P.26[29]

ビートウォッシュは節水型のため、 お湯の使用量が少なくなっています。 洗いだけの場合はポリタンク1個程度です。(約16L)

洗濯物の量が少ないとき(2kg以下)など、 吸水しない場合があります。

